

倉島事業開発株式会社

青木島ショッピングパーク/長野県長野市

当社は、1928年創業の倉島商店をルーツとし、時代と地域にあった事業を開発してまいりました。

これからも一歩先ゆく未来を見据え、街や地域のポテンシャル発揮に貢献できる事業を生み育ててまいります。常に時流を読みビジョンを持って枠に囚われない新しい事業を創りあげたいと思っています。この理念の元、青木島ショッピングパークでは、テナントの各社と共に地域の皆様との繋がりを大切にされた商業施設として、長野県の皆様の暮らしを支えるお手伝いをしております。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型CGS 35kW×5台、排熱投入型吸収式冷温水機 150RT×2台

補助金額：82,162千円(補助率1/2)

災害時の設備用途：[給電] 2F共用部、2Fテナント休憩室、2Fトイレ、空調機器等への給電
[温水] 排熱投入型吸収式冷温水機の熱源
[空調] 2階の共用部及び避難スペース空調

対象施設	避難所面積	供給方式
一時避難場所	1,294㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

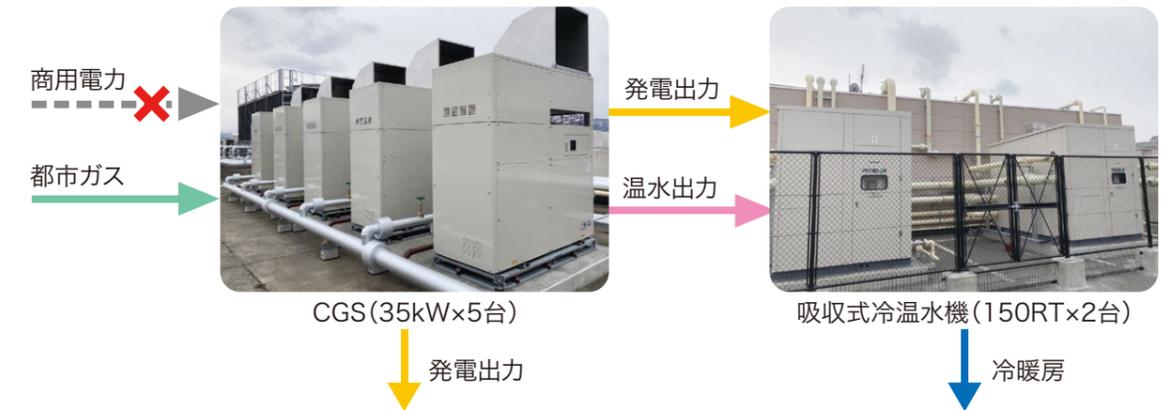
倉島事業開発株式会社 取締役 倉島 順之介 様

老朽化した電力・A重油による空調設備からEHP空調への更新をほぼ決めていた時に、長野都市ガス様から“停電対応型ガスエンジンコージェネ+吸収式冷温水機(ガス空調)”の提案を受けました。補助金の活用を前提としてもEHP空調への更新と比べ、数億円単位での投資コスト増となります。しかし、『CO₂削減・緊急時の避難所にできる』ことは、『商業施設でできる社会貢献』であると魅力に感じました。償却負担なども同様に毎年、数千万円単位でのコスト増となりますが、経営努力で吸収できると判断し、導入を決定しました。

今回の設備更新によって、災害時でもガスエンジンコージェネから電力を供給できることになり、災害への備えがより一層強化されました。また、業界新聞には、『CO₂の排出量を従来の2.2%に削減』や『避難施設として行政からの期待』と大きく取り上げられており、地域の皆さまからの期待も感じています。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(共用部)



避難スペース(休憩室)

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



トイレ



照明



空調



コンセント

協定概要

長野市では、地域自治組織が民間事業者等の施設を一時避難所として確保するための支援を行っている。令和元年10月の東日本台風による水害時には、地域内の小学校が避難所となった下氷鉤地域自治会からの当施設に対する積極的な働きかけもあり、協定を締結した。その後、長野市危機管理防災課に届け出ており、必要に応じて相談できる仕組みになっている。

なお、想定最大規模の水害にも耐え得るように設備を屋上に設置していることやCO₂削減などの環境貢献とも相まって、高い関心を集める施設となっている。